

2025 国勢調査

企画政策課 ☎84-0312



国勢調査ってナニ? ??

大正時代から続く5年に1度の統計調査です。調査の対象は「日本に住む全ての人と世帯」となっていて、外国籍の方も含まれます。広報の裏表紙にある「人口と世帯」も、国勢調査の数値がもとになっていることを知っていましたか？

調査の流れ

調査員が世帯を訪問

調査員が調査の回答方法を説明します。「住所」「世帯主の氏名」「男女別の世帯員数」を確認し、調査書をお渡しします。複数回訪問しても、不在の場合は調査書をポストなどに投函します。

調査への回答

かんたん便利なインターネット回答をオススメしています。インターネットでの回答が難しい場合は、郵送での提出も可能です。国勢調査への回答は法律で義務付けられているので、必ず期限内に回答をするようお願いします。

インターネット回答
郵送提出ともに

10/8(水)まで



未回答世帯へは再訪問します！

(※回答内容に疑義があると役場から問合せをする場合があります。)

インターネット回答が便利!

令和2年度国勢調査における開成町のインターネット回答割合は、全国平均よりも高い51.1%でした。また、インターネット回答をした方の98%はまた利用したいと答えています。24時間回答ができ、1人あたり5~10分で完了するかんたん便利なインターネットで回答をしましょう!

かたり調査に注意!

国勢調査、統計調査をかたり各世帯の個人情報聞き取る事件が発生しています。調査では年収、貯金額、各種暗証番号などは調査項目に含まれていません。



家族が認知症かも...

近所のおじいさん、最近様子がおかしいな...

認知症のご相談は 認知症初期集中支援チームへ!

認知症初期集中支援チームとは?

認知症サポート医と保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員などの医療介護の専門職で構成する認知症の支援チームです。認知症の早期対応や困りごとへのアドバイスなどの支援をしています。

支援の対象

- 40歳以上で、診断の有無に関わらず認知症が疑われる人で①、②のいずれかに該当する方
- ① 医療介護サービスを受けていない人、又は中断している方
- ② 医療介護サービスを受けているが、認知症の症状が強く、対応に困っている方

相談から支援までの流れ

1. 相談

福祉介護課窓口や地域包括支援センター窓口へご相談ください。



2. 訪問

チーム員がご自宅を訪問し、困りごとや心配ごとを確認します。



3. 支援

チームとしてどのように支援していくか検討し、受診支援や介護サービスの導入など必要に応じて支援します。



4. 引継ぎ

支援につながったことを確認し、関係機関へ引き継ぎの支援を依頼します。



相談してみよう、認知症のコト。

9月は認知症月間です

福祉介護課 ☎84-0316
地域包括支援センター ☎83-7688

「私には認知症は関係ない」と思っていませんか？全国的に認知症と診断される方は増加しており、2040年には国民の1割、65歳以上の3割が認知機能低下高齢者になると言われています。いつ自分や家族、あるいは友人や知人が認知症になるかわかりません。認知症になっても、できるだけ住み慣れた地域で暮らし続けられる地域づくりをみんなで進めていきましょう。また、認知症で不安なことがあったら、一人で悩まず誰かに相談してみましょう。



町の取組はこちら▶

あなたも認知症サポーターになろう! 認知症サポーター養成講座

認知症サポーターは、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族などに各自ができる範囲でサポートをする人です。特別なスキルは必要ありません。開成町では延べ2,113人がサポーターになっています。

詳しくは、おしらせ版 P5 をご覧ください。▶

受講者にはサポーターの証としてオレンジリングをお渡します。



福祉介護課 認知症支援 後援